

事務事業評価シート 令和 1 年度事後評価・決算

令和 3 年 2 月 22 日時点

事務事業名	16200 ひとり親家庭等医療費等助成事業	予算科目	会計 一般 3	款 3	項 3	目 2	事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業 <input type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画 <input type="checkbox"/> 新市建設計画 <input type="checkbox"/> 定住自立圏構想 <input type="checkbox"/> 主要事業	
施策体系	基本施策 7 子育て支援の充実 施策の展開 16 子育て世帯への経済的支援	根拠法令	旭市ひとり親家庭等医療費等助成に関する条例他					戦略事業	87 ひとり親家庭等医療費助成事業

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない			
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 平成 年度～ <input checked="" type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	母子家庭の母及び児童、父子家庭の父(母が児童を懐胎した当時婚姻の届出をしていないが、その母と事実上婚姻関係と同様の事情にあった者を含む。)及び児童並びに父母のない児童に対し、医療費、調剤費及び診療・調剤報酬証明手数料の一部について助成金を支給することで、ひとり親家庭等の経済的な負担軽減を図る。			
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等		
昭和59年に千葉県ひとり親家庭等医療費等助成事業補助金交付要綱が制定。本市においてもひとり親家庭等の経済的な負担を軽減する必要があると判断し事業をスタートした。	対象世帯は658世帯(H19)から725世帯(H24)に増えており、その後も増えている。根拠法令等は特に変更なし(地方単独事業)	特になし		

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(1年度の決算) 単位:千円	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	1年度(決算)	2年度(予算)
1.印刷製本費			8		
2.扶助費	7,656	8,422	7,845	7,656	8,495
② 特定財源の内訳(1年度の決算) 単位:千円	事業費計 (A)				
1.国庫支出金			7,853	7,656	8,495
2.都道府県支出金	3,811	4,211	3,922	3,811	4,247
3.地方債					
4.その他					
	4,493	4,211	3,931	3,845	4,248

前年度増減理由	1件当たりの医療費が減少したため。
---------	-------------------

従事職員数 常時 2人 最大 人 × 日 = 延べ 人

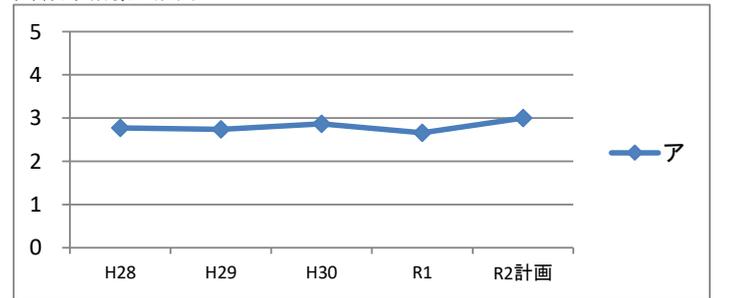
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

① 主な活動	③ 活動指標名	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(計画)
1年度実績(1年度に行った主な活動)	医療費等助成件数(通院・入院・調剤) (平成25年8月1日受診分から子ども医療費助成事業対象の児童及び障害者(18歳～20歳)がいるひとり親家庭等を対象外とした)	3,244	3,076	2,733	2,876	3,500
ひとり親等の医療費を助成。 システムの導入及びシステムによる支給事務の稼働						
② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(計画)
対象・意図 ・母子家庭の母又は父子家庭の父と18歳未満の児童若しくは父母のいない18歳未満の児童 ・対象世帯の経済的負担を軽減	申請件数1件当たりの市による医療費等支給額	2.77	2.74	2.87	2.66	3.00
対象・意図						

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果	② コスト削減優先度評価結果
成果向上余地 かなりある ある程度ある ほとんどない	コスト比率 下位 1/3 中位 1/3 上位 1/3
施策貢献度 大きい 普通 小さい	評価結果 ① ② ③ ④⑤ ⑥ ⑦⑧ ⑨
	(7)

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難
【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)	
② 成果の状況	成果指標ア 成果指標イ
【コメント】 (低下の場合、その理由)	
③ 今年度取組事項 (2年度に取り組む主な事項について記載)	時期 内容 令和2年8月頃～ ・通年 現物給付化によるシステムの改修、補正予算等の対応、条例規則の改正 対象世帯の医療費等について一部を助成し、経済的負担を軽減する。(①申請の受付、②内容の審査、③支給額の決定、④決定通知書の送付、⑤医療費等の支給)
評価内容	比較 27年度 28年度 29年度 30年度 1年度 28年度 29年度 30年度 1年度 2計画 成果動向 ア 0.05 Δ 0.03 0.13 Δ 0.21 0.34 イ 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> その他 () ・通年 例年通り実施。対象世帯の医療費等について一部を助成し、経済的負担を軽減する。(①申請の受付、②内容の審査、③支給額の決定、④決定通知書の送付、⑤医療費等の支給)